

## 平成28年第4回栗原市教育委員会定例会会議録

1. 招集日時 平成28年4月27日(水) 午後2時00分

2. 招集場所 栗原市金成庁舎2階 201会議室

3. 出席委員

1番	笠間 八十公 委員	2番	佐々木 一彦 委員
3番	亀井 芳光 委員	4番	白鳥 正文 委員
5番	早坂 留美 委員		

4. 説明のため出席した者

部長	佐藤 義郎
次長	鹿野 有三
次長	小野寺 一浩
教育総務課長	白鳥 嘉浩
学校教育課副参事	菅原 信行
学校教育課副参事	高橋 伸
教育研究センター副参事	古山 明宏
社会教育課長	菅原 良昭
文化財保護課長	高橋 久悦

5. 本委員会の書記は次のとおりである

教育総務課長補佐 白鳥 明美

6. 開 会

午後2時00分

教育総務課長 只今から平成28年第4回栗原市教育委員会定例会を開会いたします。

一同礼。 御着席願います。

本日は、委員5名の出席でございます。それでは開会の挨拶を教育委員長よりいただき、その後、教育委員長の進行のもとに進めていただきますので、よろしく願います。

7. あいさつ

委員長 皆さんこんにちは。

新年度も1ヶ月になろうとしています。今般の異動では、教育部は、部長さんや兩次長さん、2人の課長さん等、大幅な異動となりました。佐藤教育部長さん始めご転入の皆様には、着任早々からの奮闘お疲れ様です。

また、過日の幼稚園の入園式、小中学校の入学式においては、教育委員さん方、教育部管理職の皆さんには、ご苦勞様でした。市立幼稚園や小中学校がそれぞれ良いスタートを切ることができたことは何よりです。

今日は、今年度初めての定例会ですが、事務局、教育部の新たな構成による本会議が、所期の目的を達成できますように、皆様のご協力をお願い申し上げます。

また、早坂教育委員さんには、本日が、定例会議としては、最終となりました。早坂委員さんには、いつも、保護者、母親の立場から、子どもを守るため、そして、子どもの十全な成長を保障するために、行政はどうあらねばならないかという最も大切な視点から、たくさんの貴重な提言をいただきました。青空大使の団長として一行を引率された際には、筋の通った統括や、団員と一体感を持ったきめ細かな気配り等、早坂さんらしい団長振りで、敬服いたしました。任期はまだ3週間程ありますが、この場をお借りし、教育委員としてのご活躍に敬意を表します。早坂さんは、日頃から地域とのつながりを強めておられます。今後ますますのご活躍を祈念申し上げますと共に、これからも学府くりはらの推進にご支援いただきますようお願い申し上げます。

先日は、ホッケー競技国際交流事業が行われました。ちょうど両競技会場とも周りの桜がとてもきれいに咲いていて、ブッシュレンジャーズのコーチの方が、自分たちの所に桜の木はなく、春を代表する花は別の花だということで、満開の美しい桜の写真をスマホで何枚も撮ったと喜んで話していたのが印象的でした。

私が観戦した交流試合では、宮城県チームも相手ゴールに何度も迫り、得点もできました。また、レセプションでは、今年も両国の選手同士が同じ写真に収まるなど、和やかな雰囲気の中で交流が深められました。オーストラリアのブッシュレンジャーズの皆さんが、良い思い出を持って帰られたことは、良かったと思います。

本事業は今回で3度目となりましたが、今後、ホッケーを通じた国際交流の一層の広がりや、本市ホッケー競技の隆盛、更には、東京オリンピックの際のオーストラリアチームの合宿地等につながってほしいという期待感を持ちながら参加させていただきました。担当の皆さんには、ご苦労様でございました。

さて、今日の河北新報朝刊に、栗原市職員が南阿蘇村で支援に頑張る様子が掲載されていましたが、熊本地震による被害の状況が連日報道されています。犠牲になられた方々に哀悼の意を表し、被災された皆様にお見舞い申し上げます。各方面での大きな被害の様子を見て、岩手宮城内陸地震や東日本大震災の際の大きな恐怖心、社会全体の極度の混乱等、難儀を極めた日々が思い出されました。

熊本地震は、4月14日以降、幼稚園や小中学校等の教育現場にも深刻な影響を与えています。熊本県内では、今日現在で、学校施設の損壊や通学路の不通、学校が避難所になっている等の理由によって、幼稚園や小中学校の半数以上が休園、休校となっています。一日も早い授業の再開を願う次第です。

東日本大震災の後、文部科学省は、災害時における学校の機能強化の視点として、本来の役割である児童生徒の安全確保、可能な限り早期の教育の再開とともに、学校を防災拠点化し、応急避難所としての役割を果たす施設にするという方針を示しました。そして、学校に備蓄倉庫や自家発電装置を整備すること、更には、避難所開設やその後の管理運営に関わる行政や学校、地域、自治組織等の役割分担等について平常時から準備することや、そのマニュアルを整備することを提言しています。しかし、なかなか浸透、機能していくのが難しい状況もあります。

テレビの映像を観ると、予想を超えることが次々と起こるものだと感じます。それでも、また起きないようにという強い願いは、誰もが持っています。自分たちの地域でいつまた発生するかも知れないという意識で、できる備えを続けていくことが前の教訓を生かす道だと考えています。

本日のご審議方よろしく願いいたします。

#### 8. 前回教育委員会会議録の承認

委員長 それでは、日程1、前回教育委員会会議録の承認について、お諮りします。事務局に内容の説明を求めます。

事務局 平成28年3月23日、本会場において開催されました平成28年第3回栗原市教育委員会定例会でございますが、ご審議いただいた議案は「議案第9号 栗原市教育委員会組織規則の一部を改正する規則について」を含む23議案でございますが、全て承認可決されました。以上でございます。

委員長 説明が終わりました。この内容について、ご質問等ございませんか。

「なし」の声あり

委員長 ご異議なしと認め、前回教育委員会会議録は説明のとおり承認することとします。

#### 9. 教育委員会会議録署名委員の指名

委員長 日程2、教育委員会会議録署名委員の指名を行います。

例により議長から指名します。

1番の笠間委員と3番の亀井委員をお願いいたします。

#### 10. 教育長報告

委員長 日程3、教育長報告を行います。

教育長から報告をお願いします。

教育長 私のほうから一般事務報告をさせていただきます。まずもって、本日の教育委員会定例会が最後となります早坂留美教育委員さんに心から感謝申し上げたいと思います。5月19日が任期満了ということでありますが、この後運動会等まだ事業がございますので、ひとつよろしく願いしたいなあと思います。また、早坂さんを委員として推薦してくれた土地改良区の理事長さんにも感謝申し上げたいと思っていますところでもあります。新しく、千葉みどり教育委員さんが5月20日付けで就任なさいます。先輩としてご指導いただければ幸いに思います。

委員長さんの話とだぶりますが、熊本地震の被災者に心からお見舞い申し上げたいと思っています。栗原市でも、今日、市長が、南阿蘇村に第3陣として出発していくことになっております。いち早い対応はさすがだなと思ったところがございます。また、昨日は、栗駒小学校の児童会が早速動きまして、8万9千円ほどの義援金を集められました。市長室で、河北新報を通して日赤のほうに寄付したということで、取材がありました。市内の学校、或いはPTAもそういう形で動いているということをお知らせしておきたいと思います。

さて、3月定例教育委員会以降の対応事業につきましては、別紙資料がありますので、ご覧いただきたいと思います。その中の主な事業について列記しましたが、3番目の、4月3日に行われました金成白山神社の例大祭、小迫の延年であります。ダイドードリンコ日本の祭りテレビ放映ということで、前にもお知らせしましたが、5月1日の午後3時35分から東日本放送で放映されます。12月3日にもBSで放映がありますので、是非ご覧になっていただきたいと思います。

それから、委員さん方には、幼稚園、小中学校の入園、入学式、本当にありがとうございます

した。幼稚園は、全地域での3年保育が今年から始まりまして、給食も提供するようにいたしました。今のところ、大きな事故もなくスムーズにスタートしたのかなと思っていますところですが、今後いろいろな課題が出てくるのかなと思っています。その辺を見据えながら、新しく出来る北部学校給食センターとの兼ね合いも考慮しながら、さらに、安全安心な給食の提供に努めていきたいと思っていますところでございます。

それから、ブッシュレンジャーズとの交流、交歓会に参加いただき、ありがとうございます。団長さんが非常に喜んで、来年も是非来たいというお話でございました。

それから、4月19日に全国学力学習状況調査、4月26日に宮城県学力学習状況調査が行われました。結果は8月、夏休み明けになるかと思いますが、どのような結果になるのか注目しているところでございます。きっと頑張ってくれたんじゃないかと思っています。

次に、新年度のスタートにあたって、只今新しい職員を紹介いたしました。佐藤部長以下すばらしい職員を迎え、スムーズにスタートを切ることが出来ました。教育部、金成庁舎に居るのは46名でございます。座席表を資料として添付していますが、先ほど委員さん方から、顔と名前が一致しないので是非写真を撮って名前を表記してほしいということでした。今日出張している職員もいますので、全部揃った時点で委員さん方に配布したいと思っています。

それから、行政組織改編がありまして、教育環境推進係が教育総務課に併合されたということで、若干変わっております。それと、再任用管理職を配置しております。栗原文化会館、図書館、ドリームパルの3施設に、退職なさった元総合支所長等を配置しておりますので、よろしくお願ひいたします。学校関係はここに書いたとおりで、47人の退職・市外転出で転入が48人、1人増えております。内新採が12人です。

それから、春休み中の児童生徒の事故等ではありますが、大きなものはないのですが、ちょっとした接触事故だとか、怪我はありませんでしたが自宅火災という事故がありました。一方、教職員では、追突事故やスピード違反、駐車場での接触事故等ありました。最近はこの辺が若干多いようですので、疲れが出てきているのか、注意喚起を促す必要があるのかなと思っています。間もなく大型連休がやってまいりますので、教職員に対しても、児童生徒に対しても、学校に対しても、事故防止について連携を図りながら安全な生活に努めるよう指示・通達していきたいと思ひます。

それから、4月1日現在の在籍園児、児童生徒数については別紙資料をご覧いただきたいと思ひます。

それから、始業式・入学式当日の児童生徒の出席状況ですが、始業式時不登校と思われるのは、小学校1人、中学校9人、計10人です。入学式におきましては、小学校1人、中学校12人の不登校と思われる児童生徒がおりまして、内中学校の新入生2人が入学式に来なかったということになります。なお、今年度のけやき教室のスタートの在籍数は2人です。3月は11人の在籍でしたが、現時点では2人だという報告を受けております。

それから、青空大使オーストラリア派遣中学生の応募・選考状況ではありますが、30名の応募がございました。早坂委員さんにも選考委員ということで面接のお手伝をいただきまして大変感謝しているところでございます。本日、それらを基にして最終的に20名に絞りました。あとで一覧表でお知らせしたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。なお、今年度の特別団員でございますが、小野寺教育部次長を団長として、社会教育課と学校教育課から各1名、保健師1名の計4名で、昨年度より1名減になります。中学校のほうにも呼びかけをしたのですが、7月末は三者面談や各種大会等で対応が難しいということがございまして、今年

度についてはこちらで対応するというにさせていただきましたので、お知らせいたします。

最近の学校状況として付け足しますが、今、感染性胃腸炎やインフルエンザ等が若干幼稚園、小学校のほうで出ているようでありまして、学級閉鎖をしているところもあるようでございますので、その辺の対応も間違わないように、防止に努めているところであります。

次に、栗原市総合計画実施計画の施策であります、今年度重点的にやっていくものを資料として付けておりますので、委員さん方も是非ご承知いただきたいと思っております。また、その辺につきましても、6月1日に予定しております総合教育会議の中で出てくるかと思っておりますので、予定しておいていただきたいと思っております。

それから、資料にはありませんが、追加で報告させていただきます。昨夜、築館小学校と玉沢小学校の再編準備委員会がございました。その中で、委員の方々が校名をどのようにするかという意見交換がなされ、結論として、「築館小学校」という校名にしたいという方向性が出たようであります。まだ決定ではございませんが、これにつきましては確認を取って、教育委員会にかけて、9月議会に上程して決定という運びになるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

最後になります。今年度は「動きの見える教育委員会」ということで、皆さんからいつも会議資料を早くと言われますので、出来る範囲で早く配布したいと思っておりますし、学校訪問や施設訪問が非常に少なかったという反省もありますので、その辺も含めてやっていきたいと思っております。学校教育課のほうで指導主事訪問の日程がわかるのであれば、行事予定表の中に入れて、行ってみたいという時は行けるような体制を取りたいと思っております。

それから、例月発行しております市広報誌の1日発行号に「教育のひろば」がありますが、その持ち方を少し工夫していく必要があると思っております。時には教育委員さんの声を掲載したり、総合教育会議の様子だとか、様々な形でもっとPRできるのではないかと思います。

それから、中高一貫校の推進ということで、岩ヶ崎高校と栗駒中学校ですが、これはやはり離れているとだめだということで、県立中学校を併合したいという形で県の教育委員会とも話し合っております、その辺どういう形で進めるか、岩ヶ崎高校とも話し合っていきたいと思っております。

それから、今、平成27年度教育に関する管理及び執行の「点検及び評価の結果報告書」を作成しているところでありますので、これも後で委員さん方に見ていただくことになると思っておりますので、ご意見、ご指導よろしく願いいたします。併せて、平成28年度版「栗原市の教育」を作成しておりますので、その辺につきましてもよろしく願いしたいと思います。

私からは以上でございますが、教育部は様々な課題が山積みで、対応がついていけないところもあり反省しているところですが、委員さん方のご指導を受けながら、今年度は「動きの見える」ということでやっていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

委員長  
笠間委員

只今の一般事務報告についてのご質問はございませんか。

入学式の欠席についてですが、始業式の方は欠席(不登校)とあったので、不登校のお子さんの欠席だと分かるんですが、入学式の時、特に中学生ですが、このお子さんたちは小学校の時も不登校だったのか、たまたま体調が悪いとか何らかの理由があつて欠席だったということなんでしょうか。不登校との関連について教えてください。

高橋副参事  
教育長  
委員長

この2名の生徒につきましては、小学校から引き続きという形の欠席でございます。

はい、委員長。

亀井教育長。

教育長 先ほどひとつ報告を忘れましたので、付け足し、補足させていただきます。この資料の中で、スポーツパーク基本構想概要版の配布という項目がございます。これにつきましては、この間全戸に配布したところでございますが、その前に企画部と教育部の職員が、各中学校のPTAの総会等においても概要の説明を行ったところでございます。そして、これにつきましては、アンケートを取るということで、いろいろ協議をいたしまして、最初は中学生を対象にするとしましたが、中学生には判断が非常に難しいとかいろいろな話がございます、結果として中学生には実施しない、その代わり、15歳以上の6500人を抽出してアンケートを取ることになりました。5月9日から16日の間に実施して回収するという運びであります。市長の考えとしましては、50パーセント以上反対があれば考え直さざるを得ない、ただし、49パーセントが反対で40パーセント賛成があれば政治的決断をしなければならぬというような決意でもって取り組んでいるところであります。やはり、10年先の市の体育施設の在り方だとか、それを全て存続することが出来ない、或いは将来の栗原を担う子どもたちへの贈り物としたとき、そういうものを考えながら先を見越してやっていきたいというのが市長の思いのようでございますので、その辺につきましてもご理解賜りますようお願いいたします。以上でございます。

委員長 他に質問ございますか。

白鳥委員 今回のスポーツパークの関連ですが、アンケートの、15歳以上6500人なんですが、この人数というのはどういうところを根拠にしたのですか。

佐藤部長 この6500人は、栗原市の15歳以上の人口の約1割ということで、年代層別に抽出をしてアンケートを行うということでございます。

白鳥委員 コンピュータによる抽出でしょうから年代層も15歳以上様々だと思いますが、若い方々については前向きな意見も聞かれますし、高齢者になってくると守りに入るような考え方が多いなあとというような印象を受けておりました。1割というのが妥当なのかどうかちょっとわかりませんが、それで実施するということですので、見守りたいと思います。

教育長 これについては、市長が各地区全ての行政区長会で説明をしているところでありまして、それが市民に浸透しているかどうかというのは別ですが、回収率がどのようになるのかというのも課題ですが、大きな決断のための資料になるものと思っております。

委員長 他に質問ございませんか。

「なし」の声あり

委員長 ないようですので、日程3、教育長報告を終わります。

## 11. 専決処分報告

## 12. 議事

委員長 お諮りします。日程4、専決処分報告、(1)栗原市就学指導委員会に対する諮問について、(2)平成28年度就学指導を要する児童生徒について、(3)栗原市学校事務支援室グループリーダー及びサブリーダーの人事について、及び、日程5、議案第32号、栗原市奨学生選考委員会委員の人事について、日程6、議案第33号、栗原市スポーツ推進審議会委員の人事について、日程7、議案第34号、史跡伊治城跡調査整備指導委員会委員の人事について、日程8、議案第35号、要保護及び準要保護児童生徒の認定について、は個人情報及び人事案件でございますので、秘密会としてよろしいですか。

「異議なし」の声あり

委員長 　　ご異議なしと認め、日程４、専決処分報告、及び日程５、議案第３２号、栗原市奨学生選考委員会委員の人事についてから日程８、議案第３５号、要保護及び準要保護児童生徒の認定については秘密会といたします。

### 13. その他

#### (1) 各課報告

委員長 　　本日の日程が終了しましたので、これより各課報告事項に入ります。教育総務課長。  
教育総務課長 　　3月の定例会の時に笠間委員から非常勤職員と臨時職員の取扱規程の改正の中で、他自治体との比較についてお話がございまして、その時は資料を持ち合わせていないということで、次回に提示させていただくというお話をさせていただきました。本日の定例会資料の6ページでございますが、非常勤職員の給与月額、臨時職員の賃金単価の比較表を載せてございます。左側が栗原市で、右側が登米市、大崎市、一関市でございます。今わかる分の情報ということで掲載させていただきました。ざっと見ますと、大崎市と比較すると低いのが多いようでございます。登米市と比較すると、職種によってかなりばらつきがあって、栗原市が高いのもあれば、登米市が高いのもあるということで、職種によって額の設定が違うということがいえるのかと思っています。また、大崎市では、平成28年度から幼稚園教諭兼保育士の任期付職員を採用しているということで、この任期付職員につきましては20数万の給与月額、その他に期末・勤勉手当等の支給がされるようですので、この職種に関して言えば、差が開いているというような捉え方もあります。これらにつきましては、引き続きデータとして収集していきたいと思っております。以上でございます。

笠間委員 　　わかりました。栗原市の中だけで賃金を上げるといっても、住居を第1優先にするか、お金を第1優先するか等あると思いますので、やはり、こうやって比べて、検討することは大切かと思われましたので、お手数かけましたが、ありがとうございました。

委員長 　　では、次に学校教育課、菅原副参事。  
菅原副参事 　　栗原市特定教育施設の利用者負担に関する規則について説明したいと思います。資料の7ページをお開き願います。この規則につきましては、平成27年4月1日の子ども子育て支援法の施行に伴い、同法第27条第3項第2号の規定に基づき、施設型給付費の対象となる特定教育施設である幼稚園の利用者の負担額のうち、11月の定例会で、可決いただきました、栗原市立幼稚園以外の特定教育施設である幼稚園に係る利用者負担額について定めるものであります。

なお、平成27年12月の定例会に議案上程をしておりましたが、「市町村が定める額」となることから市での規則制定となるため、取り下げを行ったものであります。

初めに資料の12ページをご覧ください。子ども子育て支援法施行に伴う幼稚園授業料の改正についてです。この表につきましては、11月の定例会時の「栗原市立幼稚園授業料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則について」において、説明しておりますので、関連する項目を説明いたします。最初に、右下の利用者負担額である私立・公立幼稚園授業料の考え方についてであります。私立幼稚園の授業料につきましては、従来の制度では、保護者が負担する幼稚園授業料から私立幼稚園就園奨励費補助金(B)を控除した額が、保護者の実質負担額(A1)となっていたことから、保護者の負担の増を招かないよう私立幼稚園で定めている幼稚園授業料から、所得階層に応じて交付される私立幼稚園就園奨励費補助金の額を控除した額(A2)を、新制度の確認を受ける私立幼稚園の授業料の案とします。新制度に移行した私立幼稚園は、私

立幼稚園就園奨励補助金の適用外となり、代わって施設型給付費が交付されます。公立幼稚園の授業料につきましては、割愛させていただきます。

次に、13ページをお開き下さい。栗原市の幼稚園授業料についてであります。先ほど12ページの私立・公立幼稚園授業料の考え方でご説明した内容を具体的に金額として表にあらわしたものであります。上段の表が、新制度を適用する私立幼稚園の授業料であります。国が定める上限額は、所得階層を5階層としておりますが、国における第4階層が市民税所得割課税額7万7千101円以上から21万1千200円以下と広いことから、市の保育所の保育料の例に準じ、推定所得90万円刻みで4階層とし、計8階層としております。各所得階層毎の授業料につきましては、現行の授業料から私立幼稚園の就園奨励費補助金の額を控除した額(A2)であり、太枠で示す通りであります。表に示しております平成26年度の所得分布につきましては、平成26年度の私立幼稚園就園奨励費補助金申請の際の保護者の所得階層であります。なお、この料金につきましては、今回の「栗原市特定教育・保育施設の利用者負担額に関する規則」として新しく定めるものであります。また、※印において、「指定幼稚園の若柳よしの幼稚園については、公立の授業料を適用する。」と記載されておりますが、よしの幼稚園につきましては、平成28年度から子ども・子育て支援法に定める特定教育施設となったことから、上段の私立幼稚園の授業料が適用されることとなります。しかしながら、若柳地区の幼稚園の運営を担っていただいていることから、下段の公立幼稚園授業料になるよう、幼稚園民営化特別加算金として交付することとしております。

なお、下段の表につきましては、11月の定例会時に説明したとおりでございます。また、「栗原市の預かり保育料」につきましても、10月の定例会時に説明しておりますので、割愛させていただきます。

資料の7ページにお戻りください。第1条は本規則の趣旨でございます。本規則の趣旨につきましては、ただ今説明しました通り、子ども・子育て基本法の規定に基づき、栗原市に住所を有する支給認定の子供が、特定教育施設である幼稚園を利用する際に、支給認定子供の保護者が負担する費用の額等について必要な事項を定めるものであります。なお、第2条以下はご覧のとおりでございます。次に9ページの第1表は、公立幼稚園の授業料と同様となっております。市外の公立幼稚園に通園する園児の保護者の負担額となります。次に10ページの第2表につきましては、先ほど説明したとおり私立幼稚園の授業料となり、市内、市外の私立幼稚園に通園する園児に係る保護者の負担額となります。

なお、第1表及び第2表共に、備考において、4月から8月までの利用者負担額は前年分の市町村民税を、9月から翌年3月までは当年度分の市町村民税の額により利用者負担額を決定することが規定されております。また、兄又は姉が小学校3年生までに通学している場合の多子減免の規定と幼稚園に同一就園している場合、特別支援学校等に入所等をしている兄又は姉がいる場合の多子減免等が規定されております。また、本規則の施行期日につきましては、平成28年4月1日からの施行とするものであります。

以上、説明を終わります。

委員長  
教育長

只今の説明についてご質問はございますか。

13ページの表の市立幼稚園授業料ですが、階層区分が8階層になっていて、現在は全て35000円、非課税世帯は18000円ですが、経過措置授業料ということであり、当分の間ということで、今後変わってくる可能性があるということだけは、ここで押さえておかなければいけない、永久に続くものではないということを押さえておく必要があるということを確認していただきました。

いと思います。

委員長  
古山副参事

その他よろしいですか。次にまいります。教育研究センター、古山副参事。

資料の14ページをお開きください。平成28年度栗原市教育研究センター運営方針及び事業を説明いたします。運営方針につきましては、本センターが開所しました平成26年、再編の大きなところが終わって、その時に定められた「交流」「支援」「発信」、言い換えれば、「つなぎ」、「支え」、「伝え告ぐ」、というような方針をしっかり守っていきたいと思います。事業に関しましては、下線部が文言を整理したところというふうに捉えていただきたいと思います。昨年度と大きく変わらず、(1)交流、(2)研修、(3)から(6)の研究から教育相談、この6つの分野で事業を展開していきたいと思っています。

16ページですが、この事業を推進する職員の構成でございます。今年度、所長が変わりまして、原吉宏前特任教授が就任しております。指導主事は私で、変わらず、特任教授は4名いますが、2名が変更になっております。菅原久子特任教授が退きまして、菊地桂子前築館幼稚園長、もう1人は、原前特任教授が所長になりまして、佐藤康前栗駒南小学校長でございます。教育相談員は変わらず、齋藤久美子相談員、事務職員は氏家主幹に変わりました。業務員は前高清水小学校補助員であった佐々木です。以上総メンバー9名でやっていきたいと思っています。

施設利用に関しては、今年から管理人が付かなくなったので、夜間は午後9時までに短縮しました。午後5時15分以降は予約制で、私、所長、主幹の3人の所員の当番制とし対応していきたくと思っています。予約があった時だけの夜間対応で、土曜日も同じであります。

次に、施設平面図ですが、大きな変更はございません。

次に、18ページの事業一覧ですが、白抜きの字で示したところが、昨年度から改正したところでございます。先ほど、教育長が「動きの見える教育委員会」とおっしゃいましたが、教育研究センターでは、「学校に根ざした研究センター」として、受け身の画一的な研修ではなくて、学校のニーズ、または、市独自の研修が行えるセンター、ということで改正をしてみました。1番目が「若手教員の指導力向上のためのアドバイザー派遣」ということで、去年はほとんどがセンターに集合してもらっての研修でございましたが、今年度は、特任教授または私が、各学校の求めに応じて、各学校に出向いて指導、支援を展開する、というものを設定しました。更に、タブレットが導入されておりますので、タブレット導入業者による講習会、そして、Q-U調査の活用に関しても学校現場に出向いての研修も設定しました。このように、現場に根ざした研修を多く設定いたしました。その他、今年度から3年保育が全幼稚園で展開されることを受け、幼稚園長研修会、幼稚園主任研修会を設定しました。ここ数年、体制が落ち着くまで、幼稚園教育に関しては学校教育課の方針もございますので、センターとしても、手厚くいたしますか、丁寧に研修体制を組んでいきたいと思っております。また、非常勤でございますが、学校補助員研修会、市費教諭等研修会、この方々も非常勤ではありますが、学校にとっては大切な人材でございます。なるべく、大きな差がないように、そして、市が目指す教育のあり方を伝えられるように回数を増やして、特に学校補助員は、支援を必要とする子どもに1対1で付く支援でございます。大きな影響を及ぼしますので、1回増やして、2回にしたところであります。

以上、説明を終わります。

委員長  
委員長

説明が終わりました。ご質問ございませんか。

質問ではないんですが、今の話では、幼児教育についての重点的な対応ということでした。総合教育会議の中でも成果が見られるという話でしたが、例えば、英語教育について、栗原市

の重要な教育課題のひとつと認識すれば、5月と8月には小学校、中学校、1回ずつありますが、そういうのを幼児教育のように、もう少し重点化して回数をふやすとかは出来ないでしょうか。そういうようなことを総合教育会議でも話してきたんですが、可能ですか。

古山副参事

本年度に関しましては、県の英語教育の指定が、志波姫小学校、志波姫中学校に2年間の指定がかかっております。先ほど言いました事業の中に、アドバイザー派遣ということで、特任教授か私が学校に出向いていくという事業もありますので、今のところ県の事業と抱き合せてといいますか、志波姫中学校にアドバイザーを派遣して、先行的に成果を出していこうというような取り組みはしています。回数を増やすというのは、今も幼稚園や学校まわりをしていますが、なかなか園長先生、校長先生方の話では、研修させたいけれど子どもの安全とか教育の円滑な推進からすると、スタッフをこれ以上外に出すことは難しいというところもあるようで、調整中であります。

委員長

スタッフが限られるので、難しいところもありますね。例えば、外部講師を、ちょっとお金はかかりますけど、市当局との調整の中で、重要課題については、自分の近くだけでなく、例えば外部講師を使ってやるとか、そういうのが可能であれば、お願いしたいなあとということでお話をしました。

笠間委員

今、幼児教育の話が出ましたが、小学校の学力を上げるためには、やはり幼稚園での教育がすごく大切だということを本で読みました。アメリカは研究とか費用対効果の調査がすごく進んでいるということで、例えば幼児教育でも、セサミストリートを小さい頃に見ていた子は大きくなってからの学力が高いというデータが出ているんだそうです。今、人材の問題とか出てきましたが、例えば英語教育で言えば、本当は子どもにビデオだけ見せてるのはよくないんですが、英語に接する機会を増やすという意味では、もちろん生のALTの先生がいたほうがいいかとは思いますが、実際それが無理なのであれば、幼稚園の毎日の生活の中でそういうものに接する時間を、例えばテレビとかビデオでもいいんですが、そういうのもひとつの手じゃないかなと思います。幼児教育を具体的にどうしたらいいのかっていうのは私も専門家でないのでわかりませんが。それがひとつと、それから、最近新聞を見てると、秋田県がすごく外に発信していて、例えば、秋田の勉強法をタイでやる、先生をタイに派遣して実践してみるとか、子どもの短期留学を受け入れるとか、秋田の学力が高いということに対して、教育委員会がすごく自信を持って外に発信していると思いました。実際、テレビで見たときに各地の県の先生が秋田に行って研修をしているというのも番組で見たことがあります。この、教育研究センターの中での研修もすばらしいと思うんですが、実際、外に出てそういうのを見てみるというような計画はないんですか。

古山副参事

実は、学校教育課の命令を受けて、私と菅原主幹と千葉特任教授の3人で、昨年度の3月に秋田県大仙市、秋田県の中でも全国学力テストで秋田県平均を上回る市ですが、2日間に渡り、教育長先生や小学校、中学校の校長先生、研究主任の先生方とお話をしてみました。さらに、我々が行くだけでなく、栗原の教育を支えるような若手を派遣しようという命令を受けて、仮にですが、事業計画を立てております。1週間程度ですが、授業参観だけでなく、お子さんをお借りして授業をしてみるというような計画を立てています。

教育長

今の笠間委員さんのお話しに付随するのですが、こちらからやれやれというのもひとつの手ですが、学校内の校内研究体制というのはどうなっているのか、どうしても、数学、算数、国語だとかに集中しがちで、英語を校内研究に位置付けてやろうという学校があるだろうかという、意外とないと思います。そういう視点を持っていただくとか、或いは校内放送の場、

昼の放送を英語でやるだとか、何かしらそのような工夫をしていくことがやはり今後必要なかなと思いました。その辺含めて今度の校長会ででも呼びかけしてみたいと考えております。

早坂委員 新しく、各地区に保育所、幼稚園が一体化になって、子どもたちの数も増え、スタッフの先生方もそれなりに増えたと思うんですが、新しい施設で、4月からスタートして働いてみて、ちょっと不便に感じる部分とか、人手が少なく、子どもたちと密に接することが出来ないということをお聞きしています。是非、今年度からは、学校訪問とか施設訪問をしていただくことを期待しています。現場で働いている保育士さん、幼稚園教諭の皆さん、臨時職員さん、実際に子どもたちと触れ合っている方々の声を聞いてあげていただきたいなと思います。よろしくをお願いします。

佐藤部長 只今の早坂委員さんのお話については、実際私の耳にも入っておりまして、全部正職員でやるというのは、今後子どもの数が減っていくという状況の中で、それだけの数を採用するというのは、なかなか難しいので、いずれ、臨時、非常勤の方々のお手伝いをいただかないと出来ないことであります。そういった中で、待遇の面もございまして。先ほど、他自治体との比較ということで、笠間委員さんからもお話がありました。その辺、金額のところも重要なところでありまして、実際に募集している位集まっていない状況ですので、その中でもなんとか基準を下回らない形にはさせていただいていますが、実際、現場の方々からは少ないという実感があるようです。今指示を出しているところですが、まず、幼稚園だけではなかなか話が進まないで、保育所はもっと非常勤の方が多いという状況もあるので、子育て支援課といっしょになって、まずは他の自治体の雇用方法も含めて、先ほどの大崎市の例もありましたが、そういった形も含めて検討して、なんとか少しでも待遇改善するよう検討するように指示をしているところです。それらを含め、実際に現場に行き話を聞きたいと思っております。

教育長 今、佐藤部長が話したとおりでありますので、その辺についても今後声を聞きながらということがあります。それから、ある自治体の総合教育会議の持ち方で、代表の方を呼んで話を聞くというのをやっている自治体もあるということをお聞きしております。ただ、その持ち方は非常に難しく、要望の場になりかねず、心配な面もありますので、その前に、例えば、さっきおっしゃったように、施設訪問をして幼稚園の先生方の声を委員さん方が生で聞くとか、そういう場があってもいいのかなという感じがしました。教育委員会イベント情報がありますが、ここに、1列追加して、指導主事訪問の予定を入れてもらいたいと思います。そうすると、行ってみたい時に行き見れるし、そういうことも工夫していきたいと思っております。そういうところで動きが見える教育委員会になるのかなと思ったところであります。

委員長 それでは次に、社会教育課長。

社会教育課長 資料の19ページをご覧くださいと思います。栗原市放課後児童クラブ管理運営規則の一部を改正したものであります。

この内容につきましては、平成28年4月1日から新行政不服審査法の施行に伴い、文言の整理を行ったものであります。改正の内容につきましては次ページ以降にあります5種類の様式、様式第2号、第3号、第4号、第7号及び第9号の中の「異議申立て」の部分に「審査請求」に、「60日」を「3月」に、「対する決定」を「対する裁決」に、「決定がない」を「裁決がない」に、「その他決定」を「その他裁決」に改めたものでございまして、この告示は法律の施行と同時ということで、平成28年4月1日から施行ということでございまして、20ページから28ページについては新旧対照表でございまして、

以上で説明を終わります。

委員長 質問ございますか。

「なし」の声あり

委員長 それでは、以上で各課報告を終了いたします。

14. 閉会

教育総務課長 以上をもちまして、平成28年第4回栗原市教育委員会定例会を閉会致します。

午後3時45分

15. 本委員会の議決の次第は次のとおりである。

議案第32号 栗原市奨学生選考委員会委員の人事について

議案第33号 栗原市スポーツ推進審議会委員の人事について

議案第34号 史跡伊治城跡調査整備指導委員会委員の人事について

議案第35号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

この会議録は書記が作成したものであるが、その内容の正確なることを証するためここに署名する。

平成28年5月20日

会議録署名委員 \_\_\_\_\_

〃 \_\_\_\_\_